

18. 国道1号 箱根エコパーキング整備

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
交通対策課長 伊東 建一

1. 背景・目的：

一般国道1号は東西交通を担う主要幹線道路で、静岡県と神奈川県の間境に位置する箱根峠付近は、日常的に非常駐車帯に大型車が止まり、安全上の問題が長年指摘されているほか、ゴミのポイ捨てなど、環境問題も引き起こしていました。当地区は、富士箱根伊豆国立公園内でもあり、箱根旧街道の石畳も発掘されています。

このため、静岡国道事務所は当該地区に緑化とリサイクルなど環境に全面的に配慮した駐車場を整備しました。検討に当たっては、富士常葉大環境防災学部の松田美夜子助教授ら委員とするデザインワークショップにより整備案を策定し、事業を進めました。

2. 箱根エコパーキングの概要：

天下の険として有名な箱根峠に、「箱根エコパーキング（愛称：ハコP）」という駐車場を平成15年3月27日、国道1号沿いにオープンしました。

この駐車場は大型車両の路上駐車やそれに伴うゴミ処理など、交通安全・環境に配慮するための整備をしています。

この駐車場のコンセプトは、

- ① 緑化の推進
- ② リサイクルの推進
- ③ 歴史文化の表現
- ④ 静岡県の玄関口としての整備

具体的な整備として、①付近の自然に対しての温度変化等に配慮するため、出来るだけ舗装面が少なくなるよう、透水性ブロックと芝生を組み合わせた緑化ブロック舗装の駐車スペースの使用や駐車場内の緑化又、歩道舗装には透水性のあるウッドチップ舗装を施しました。②リサイクルの推進としては間伐材やそのチップ材等を植栽帯・歩道舗装・案内板に使用しています。又、太陽光や風力の自然エネルギーを利用し効率的に充電で夜間照明を行っています。③旧東海道らしさをと石畳舗装の歩道や和風デザインの休憩施設・トイレ等としています。

駐車台数は大型車23台、小型車6台、身障者用1台、オートバイ1箇所があります。

また、この付近は地元により箱根旧街道の石畳や史跡が整備され、ウォーキングコースとして親しまれています。

車の運転の方にも、ウォーキングの方にも休憩ポイントとして利用できる箱根エコパーキングには是非お立ち寄り下さい。